

3. 学童クラブ運営について

学童クラブの定員に対する待機児童数は令和6年6月議会での一般質問時は45名でしたが、14名に改善されました。しかしながら、いまだ待機児童が存在する点と、低学年優先のために申込みを諦めている中学年・高学年の潜在的待機児童の存在を考慮する必要があります。

更に、過ごしやすさへの配慮も大切です。一斉授業と違いそれぞれが思い思いに活動する為、かなり賑やかです。聴覚が敏感なお子さんにとっては苦痛であるかもしれません。

静かに読書や勉強をして過ごす部屋と遊びやおしゃべりをして過ごす部屋を分けるべきではないか、市の見解を求めました。

昨今、県内でも強盗など凶悪な事件が複数起きています。施錠していても窓を壊し侵入するような事件も発生しており、「1人での留守番は親子共に大変不安であり学童クラブで過ごせることは大きな安心につながっている」との声が寄せられています。

又、生活費の捻出や子どもの進学費用のため、共働きをしている多くの家庭にとっては、学童クラブの存在は必要不可欠でその重要性は以前にも増して高まっています。

財政状況が厳しい本市では有りますが全ての希望する児童が利用出来るよう「国の放課後居場所緊急対策事業」などを活用し整備する事を求めました。



皆様からのご要望が実現しました！

<住宅の耐震改修費用に館山市の補助金制度>が今年度から始まりました。

昨今、日本の至る所で震度5の地震が発生しています。南海トラフ地震や首都直下地震、房総半島沖地震が予想される中、命を守る対策の1つとして住宅の耐震化は重要です。先日の岩手県三陸沖を震源とする震度5強の地震では、北海道・三陸沖後発地震注意報が発表され本市も対象となりました。

しかしながら、耐震改修工事費用は住宅の状況や施工方法にもよりますが、一般的に高額で100万円を超える場合もあるようです。

市民の皆様の「補助金制度を設けてもらいたい」との声をお聞きし、県内の他自治体の状況を調べたところ、54自治体中52自治体が既に実施していることが判明しました。

そこで令和6年6月議会と令和7年9月議会行政一般質問において、市民の命と安全を守る為、国と県の助成金を活用し、本市においても早急に補助金制度を設けるべきであると訴えました。

その結果、本市の財政は学校再編など大型事業が続いている為、大変厳しい状況ではありますが、今年度の新規事業として予算化されました！

対象となる住宅は平成12年5月31日以前の耐震基準で建築された木造住宅で、補助額は補助対象経費に5分の4を乗じた額で100万円を上限とします。



詳しくは 館山市役所建築施設課 22-3751 まで

全国交通安全運動の
広報活動をしました！



小学校で行われた交通安全教室にて見守りな
どを行いました！



鈴木 明子 公式 LINE
是非ご登録下さい！

